

チャペル週報

No.8

2023.6.5～6.9

都は神の栄光に輝いていた。その輝きは、最高の宝石のようであり、透き通った碧玉のようであった。

ヨハネの黙示録 21章11節



ランバス記念礼拝堂（西宮上ヶ原キャンパス）

関西学院宗教センター

賛美の声

Julia 碧 Thrasher

「歌声が戻ってきた。」最近の礼拝で特に嬉しく感じていることです。中学部では水曜日を除く毎日に全校礼拝があり、私はオルガニストとして生徒の歌声を背中から毎日受けています。コロナ以前の中学部の礼拝は讃美歌の歌声が元気で大きいことが特徴のひとつでした。ほとんどの生徒にはお気に入りの讃美歌があり、休み時間に何気に口ずさんでいる生徒も（特にクリスマス頃）よく見かけました。

しかしコロナで礼拝が一変しました。全校礼拝を持つことができない時期を経て、やっと全校礼拝ができて生徒は声を出せませんでした、讃美歌はCDで音声を流すなどの工夫がなされましたが、みんなで受けることができる喜びはありながらも、ちょっと物足りなさを感じました。歌うことができても「静かな声で」という指示で、オルガンで歌声が聞こえないときもありました。

そもそも思春期の生徒が大きな声で歌うことに恥ずかしさがあり、これまでは上級生が大きな声で歌うことで下級生も歌っていた経緯があったので、もう2度と元気な礼拝は聞けないのかなと不安がありました。

しかし、同時に希望もありました。色々な制限がある中でも音楽の時間では讃美歌を歌い続ける授業をしてくださったおかげで讃美歌への親しみは薄れることなく続いていました。生徒の讃美歌を歌う声を録音しようとなった時、有志で来た生徒は30曲以上元気に歌って録音しただけでなく、収録終了後も名残惜しそうに次々と讃美歌を歌っていました。

またクリスマス礼拝では毎年全校生徒から聖歌隊を募集するのですが、コロナ禍では聖歌隊のみが讃美歌を歌い、残りの生徒は聞くだけ、という礼拝を行いました。そのためか聖歌隊の希望者が膨れ上がり、去年は170人以上の生徒が応募しました。聖歌隊希望者が聖歌隊のために用意していた2階席にどんなに頑張っても入りきらないため、何人かの下級生にはあきらめてもらい、150人強の聖歌隊でクリスマス礼拝を行いました。

そして今年の新入生は最初から大きな声で返事をしたり歌ったりすることを上級生リーダーからオリエンテーションキャンプで教えてもらい、元気に歌っています。上級生もその雰囲気の中、大きな声で歌い始めたので冒頭の「歌声が戻ってきた」に今はなりました。元気が欲しい方はどうぞ一度覗いて見てください。

(中学部教諭)

チャペルアワー スケジュール

西宮上ヶ原キャンパス、西宮聖和キャンパス・・・10:30-11:00
神戸三田キャンパス・・・10:40-11:10

6/ 5 月

神 説教学演習 A 潮田 真舟(神学研究科 M1)
経 李 相勲 (宣教師、経済学部准教授)
人 李 善恵 (宣教師、人間福祉学部教授)
建 こみんか学生拠点、J-Fun ユース K. G.
聖和 山内クラス ダッドレーチャペル

6 火

神 コーヒーチャペル 神田 健次(名誉教授)
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)
社 宗教総部
法 Timothy O. Benedict (宣教師、社会学部准教授)
経 経済と人間③ 藤原 憲二 (経済学部教授)
商 木原 桂二 (宗教主事)
国 ボランティアのすすめ ヒューマンサービス支援室
理・工・生環 河西 秀哉 (名古屋大学大学院人文学研究科准教授)
総 村瀬 義史 (宗教主事)
教 Christian Triebel (宣教師、学長直属助教)

7 水

神 奨学金授与礼拝 東島 勇人(日本基督教団東梅田教会牧師)
社 オルガンに親しむ 太宰 まり (オルガン講師)
法 大宮 有博 (宗教主事)
商 田中 裕幸 (商学部教授)
人 嶺重 淑 (宗教主事)
国 学生活動報告① 宗教活動委員会
理・工・生環 前川 裕 (宗教主事)
教 音楽チャペル 関西学院ウィメンズ・グリークラブ

8 木

神 「私にとっての1枚」⑧ 浅野 淳博(神学部教授)
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)
社 心新たにーコロナ後の出発② 荻野 昌弘 (社会学部教授)
法 山本 俊正 (関西学院大学商学部元教授)
経 建学の理念⑥ (最終回) Christian Triebel (宣教師、学長直属助教)
商 木原 桂二 (宗教主事)
人 嶺重 淑 (宗教主事)
国 Chapel in English Janette McIntosh (宣教師、国際学部教授)
総 村瀬 義史 (宗教主事)
聖和 家山 華子 (日本基督教団箕面教会牧師)

9 金

神 梶原 直美(教育学部宗教主事)
文 Chapel in English Andreas Rusterholz (宗教主事)
経 音楽チャペル 聖歌隊
理・工・生環 Janette McIntosh (宣教師、国際学部教授)

◇ランバス早天祈祷会 毎週金曜日 8:10~8:30 ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)
6月9日(金) 人間福祉学部のために 武田 丈(人間福祉学部長)
毎週金曜日、各テーマに沿ったお話を聞き、参加者で祈りを捧げています。学生・教職員の方々に開かれた祈祷会です。ランバス礼拝堂とZoom併用で実施しておりますので、ぜひご参加ください。Zoomでご参加希望の教職員・学生の方は、宗教センター(shukyocenter@kwansei.ac.jp)へ
①メールアドレス②お名前③所属④関学との関係(学生等)をメールでお知らせください。

●院長室から発信! ビデオメッセージ「風に思う」配信のご案内

院長室からのビデオメッセージ「風に思う」の配信をしています。毎回、聖書の言葉を取り上げ、それが今を生きる私たちに何を語るか、短くお話しします。キャンパスの美しい風景と合わせて、関西学院の中心となる精神に触れてください。



(月2回程度で更新されます)

<https://ef.kwansei.ac.jp/about/kazeniomou> 「風に思う」 関西学院 院長室からのメッセージ(HP)

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急大阪梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパス(1405教室)では、大学院授業期間中の月1回木曜日にチャペルアワーを開催します。

【どなたでもご自由にご参加ください。】

6月8日(木) 17:50~18:10 井上 智(宗教センター宗教主事)

●ランバスチャペル・ヌーンコンサート

西宮上ヶ原キャンパスの正門に入って右手に見えるチャペル「ランバス記念礼拝堂」では、礼拝はもちろん、コンサートや式典、講演会、卒業生の結婚式などが行われています。4月から関学を代表する音楽団体による恒例のヌーンコンサートが開かれます。お昼休みのひととき、どうぞ耳を傾けてみてください。

6月15日(木) 関西学院大学混声合唱団エゴラド

6月30日(金) 関西学院ハンドベルクワイア

7月 6日(木) 関西学院聖歌隊

7月 7日(金) 関西学院バロックアンサンブル

7月14日(金) 関西学院交響楽団

いずれも12時45分~13時15分

ところ: ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原キャンパス)

主催: 宗教センター・宗教音楽委員会

●関西学院会館ベーツチャペル日曜礼拝

授業期間中の第二・第四日曜日(原則)の午前10時から関西学院会館ベーツチャペルでは日曜礼拝を行っております。

どなたでも(クリスチャンでなくとも)ご参加できますのでどうぞお越しください。

6月11日(日)、25日(日) 10:00~11:00

●CD・DVDライブラリー利用について

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員(学生証または身分証明書必要)であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

●使用済み切手収集にご協力ください

本学では「日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)切手部」の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますので、どうぞ吉岡記念館事務室へお届けください。

郵送でのご送付先：〒662-8501 西宮市上ヶ原一番町 1-155
関西学院吉岡記念館事務室宗教センター宛

● 盲導犬育成のためご協力をお願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室はじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。

● 「チャペル週報」のバックナンバー(2005年以降)は下記で閲覧できます。

URL：<https://www.kwansei.ac.jp/about/chapel/weekly/>

関西学院宗教センター

<https://www.kwansei.ac.jp/about/chapel/>

